

わが社の人材開発

充実した教育設備ときめ細かな研修で、 長期間にわたって独り立ちをサポート

日本電設工業株式会社

本社所在地：東京都台東区

事業内容：鉄道電気工事、一般電気工事、情報通信工事

従業員数：2,162名（平成23年9月30日現在）



コミュニケーション力と 勤勉性を重視して新人を採用

日本電設工業は、昭和17年に鉄道電気工事の専門会社として設立され、以来この分野のリーディングカンパニーとしての地位を確立してきました。現在は、鉄道電気工事のほか、一般電気工事、情報通信工事の3分野を中心に事業を展開しています。

同社は主に電気・電子系で学んだ大卒者を中心に新人を募集し、近年は毎年100名前後を採用しています。

採用活動に当たっては、全国各地の支店で会社説明会を開き、応募者には適性試験と筆記試験（技術系では一般常識と電気関連、事務系では一般常識と小論文）を実施します。その後、2回の面接を経て採否が決められます。

採用のポイントについて人材開発部長の松井克彦さんは「特に技術系の場合、チームで仕事を遂行します。そのため面接では、コミュニケーション能力を見極めたいと考えています。また、さまざまな資格を取得する必要がありますので、勤勉性も重視します」

全寮制の下で、 長期の新人研修を行う

日本電設工業の人材教育の核をなすのが、中央学園（千葉県柏市）です。同学園は、電気関連の多くの実習室を備え、図書室やカフェテリアもあります。また実習・実技訓練のほか、体育施設として使われるアリーナや2つの宿泊棟も併設されています。

新入社員たちは、このように設備の整った中央学園で寮生活を送りながら、研修を受けます。新入社員を対象とする研修は次のようになっていま

す。

●鉄道電気系：4科6コースに分かれ、全寮制で1年間の研修

●一般電気系・情報通信系：全寮制で6カ月間の研修、現場実習を経験した後2カ月間の後期研修

●営業系・事務系：全寮制で、営業系は2カ月間、事務系は1カ月間の研修

全寮制で新人研修を行う目的について、執行役員で同学学園長の城處享弘さんは、「寮生活を送ることによって、仲間と接し、コミュニケーション力が醸成されることを期待しています。初めは不安を感じる人もいますが、卒業するときは『いろいろな人と付き合うことができてよかった』という感想が多く聞かれます」と語ります。

部門によって教育プログラムが違いため、例えば、鉄道電気系では、新人たちは研修を終えた後、1年間は子会社でのOJTによる作業体験を通じて、現場実務の習得と事故防止への取り組みを理解していきます。3年目からはベテランのもとで現場業務補助を通じて、さらにスキルを向上させていきます。日本電設工業では入社後4年間または6年間を若手育成期間と位置づけ、長期にわたって新人の独り立ちをサポートしていきます。この期間を終えると部門長が対象者のスキルを社内教育委員会



に諮り、修了証が発行されます。

新人たちはその後も、おおむね入社後10年～12年の間に一人前の技術者へと成長するために、年数に応じて初級・中級・上級の研修を、中央学園や新たに整備されたデジタル学園で受講します。

中央学園ではこのような新人教育のほか、資格・職位別教育や資格取得教育、専門教育などのカリキュラムがあり、社員全体に対する研修体系を整備しています。

教育制度の 一層の拡充を図る

日本電設工業では会社創立70周年の記念事業として、中央学園の設備の拡充を図ろうとしています。そうした記念事業の一つとして、すでに「NDKデジタル学園」が創設されています。これは教育のICT化を実現したもので、テレビ会議を利用し、全国の22拠点でリアルタイムで研修を受けることができるシステムです。

また中央学園は職業能力開発促進法に基づく認定職業訓練校として「NDK技術学園」を併設しており、他社からの訓練生を受け入れています。

「基礎教育の充実を進める一方、技術の発展に対応するためにカリキュラムの内容を見直す努力をしています。当学園は新人研修をはじめ、社員教育に万全な体制を築いていると自負しています」（城處学園長）。